

21 世紀出生児縦断調査研究会開催要綱

平成 31 年 4 月 4 日

総合教育政策局長決定

一部改正 令和 3 年 3 月 2 日

一部改正 令和 5 年 3 月 15 日

一部改正 令和 6 年 4 月 1 日

一部改正 令和 7 年 4 月 1 日

1. 趣旨

子供や若者を取り巻く環境が、知識・技能の習得や職業に対する意識の涵養及びその後の職業選択に与える影響等を明らかにするため、「21 世紀出生児縦断調査（平成 13 年出生児）」及び「21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）」の調査内容の検討及び調査結果の専門的な分析等を行う「21 世紀出生児縦断調査研究会」（以下「本研究会」という。）を開催する。

2. 検討・研究事項

- (1) 調査内容について
- (2) 調査の実施方法について
- (3) 調査結果の専門的な分析について
- (4) その他

3. 実施方法

別紙の者の協力を得て、上記 2 に掲げる事項について検討・研究を行うものとする。なお、本研究会以外の者の協力を得ることができるものとする。

4. 議事の取扱い

議事については、議事概要をホームページに掲載する。ただし、調査票情報及び公表前の情報等の非公開情報を用いて検討・研究する場合等、座長が非公開とすることが適当と認める箇所は、非掲載とすることができる。

5. その他

- (1) 本研究会の庶務は、参事官（調査企画担当）において処理する。
- (2) 本研究会に係る経費は、文部科学省において負担する。

21 世紀出生児縦断調査研究会

委員

- 赤 林 英 夫 (慶應義塾大学経済学部教授)
石 田 浩 (東京大学名誉教授・客員教授)
遠 藤 利 彦 (東京大学大学院教育学研究科教授)
妹 尾 涉 (国立教育政策研究所教育政策・評価研究部総括研究官)
辰 巳 哲 子 (株式会社インディードリクルートパートナーズ
リクルートワークス研究所主任研究員)
濱 中 義 隆 (国立教育政策研究所高等教育研究部長)
廣 松 毅 (東京大学名誉教授)

専門委員

- 石 田 賢 示 (東京大学社会科学研究所准教授)
川 本 哲 也 (慶應義塾大学文学部准教授)
佐 藤 一 磨 (拓殖大学政経学部教授)
土 屋 隆 裕 (横浜市立大学データサイエンス学部教授)

(五十音順)